

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	生産システム工学		
科目基礎情報							
科目番号	1113	科目区分	専門 / 選択				
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2				
開設学科	生産システム工学専攻	対象学年	専2				
開設期	後期	週時間数	後期:2				
教科書/教材	自作講義ノート						
担当教員	攪上 平之介						
到達目標							
1. 生産システムのこれまでの経緯と最近の生産現場での技術動向について説明できる。 2. 生産システムはどのように設計され、活用されているか説明できる。 3. システムの基本構成要素について説明できる。 4. 生産システムのプロセスとマネジメントについて説明できる。							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	生産システムの概念をよく理解し説明できる。	生産システムの概念を説明できる。	生産システムの概念を説明できない。				
評価項目2	生産システムの設計とその活用に関してよく理解し説明できる。	生産システムの設計とその活用に関して説明できる。	生産システムの設計とその活用に関して説明できない。				
評価項目3	システムの基本構成要素をよく理解し説明できる。	システムの基本構成要素について説明できる。	システムの基本構成要素について説明できない。				
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 A2 教育目標 B1 教育目標 C3							
教育方法等							
概要	【生産 平成28年 1年・2年 後期 開講】 現代社会における物の生産とは何か、また、企業が資材の購入から製品が出来上がり販売されるまでに、物はどのような流れや考え方を経るのか基本的な事項について概説する。						
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業方法は講義を中心とし、特に教科書は指定しないので、ノートやメモをとり整理しておくこと。 自学自習では、学校の図書館やインターネット等を有効に活用すること。 						
注意点	<ul style="list-style-type: none"> システム工学や管理工学との関連があるので、必要に応じて復習し理解しておくこと。 普段から新聞の経済面などに目をとっておくこと。 						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	講義ガイダンス	講義の概要と進め方を理解する			
		2週	生産について (1)	生産の形態について説明できる			
		3週	生産について (2)	生産要素と生産目的について説明できる			
		4週	生産について (3)	生産性について説明できる			
		5週	システムについて	システムについて説明できる			
		6週	生産システムと生産形態について	生産システムと生産形態について説明できる			
		7週	物の流れと情報の流れにつて (1)	物の流れと製品設計について説明できる			
		8週	物の流れと情報の流れにつて (2)	工程設計とレイアウト設計について説明できる			
	4thQ	9週	生産のマネジメント・システムについて	生産計画と日程計画につて説明できる			
		10週	在庫管理と生産コントロールについて	在庫の種類と管理の仕方について説明できる			
		11週	生産の価値システムについて	生産システムにおける原価につて説明できる			
		12週	原価の概念と時間的価値について	原価について説明できる			
		13週	生産価格構成について	生産原価構成につて説明できる			
		14週	利益計画と損益分岐点について	損益分岐解析ができる			
		15週	自動生産システムについて	オートメーションとC I Mにつて説明できる			
		16週	定期試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	20	10	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	20	10	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0